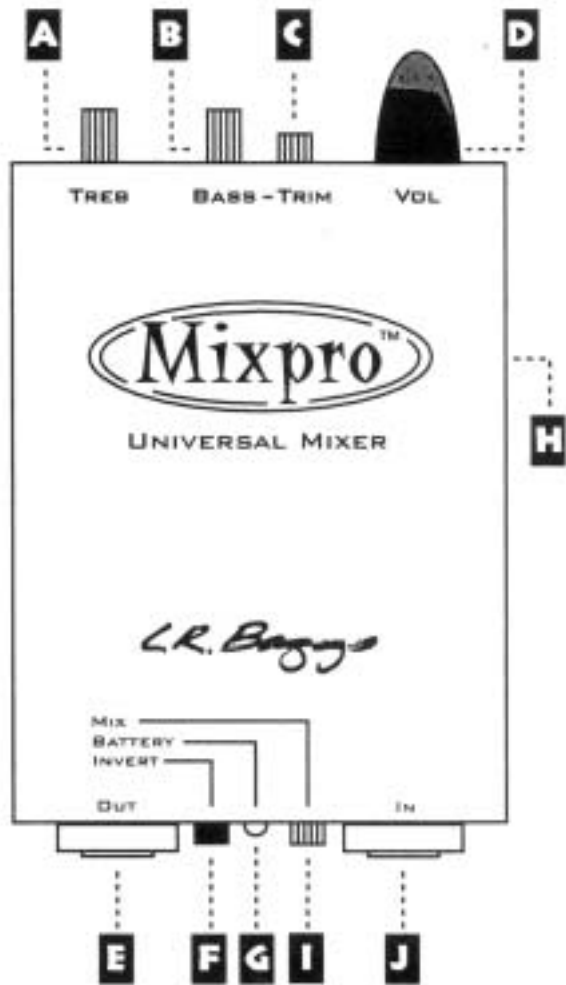


MIX PRO

USER'S GUIDE

エルアールバッグスの製品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。ミックスプロを使用することで、ピエゾとマグネティックピックアップ、ピエゾとマイク等、色々な組み合わせをミックスして音造りを行うことが可能となります。組み合わせによっては別売りのBufferJackが必要になる場合もあります。形は小さくても妥協なしのL. R. BaggsクオリティのMADE IN U. S. A. このマニュアルを充分にお読みになり正しくお使い下さい。



CONTROLS

A TREBLE CONTROL :

高域の周波数帯を調整するためのコントロールです。

B BASS :

全体の暖かみを増やしたり、フィードバックをカットしたりするときに使う、低域の周波数帯を調整するためのコントロールです。

C BASS TRIM :

上記のベースコントロールをする前に、必要な場合にベースの周波数帯ポイントを決めるコントロールです。27~200Hzの間でのコントロールが可能です。出力するアンプやP. A等の外部機器によっても変わりますので、実際に音出しをしてご自分の好みに調整してください。

D VOLUME :

ボリュームコントロールです。ディスクリート・クラスAのプリアンプを使用しているので、S/N比は+90dBと、この価格と内容の製品ではかなりの高忠実度のローノイズを実現しています。

E OUTPUT : (モノ・ミックスアウト)

通常ギターのカブリングで使われる1/4" のモノ・アウトです。ジャックを入れたときのオン・オフスイッチも兼ねており、不要なスイッチノイズを避けるため、ケーブル装着時は主力のアンプ、P. A等のボリュームを落としてから行ってください。

F INVERT :

MIXされた出力信号の位相を逆にします。フィードバックが多いときに効果があります。特に問題の無い場合はプッシュスイッチの出ていない状態がノーマルモードです。使用する場合は、スイッチングノイズを避けるため出力側のアンプ、P. A. のボリュームを落とした状態で行ってください。

G BATTERY LED :

稼動しているときはLEDが点灯します。消耗してくると暗くなり始めますのでそのときに新しいバッテリーに交換してください。アルカリ電池で200時間以上持ちます。

H BATTERY :

バッテリー交換は、本体裏の大きめの黒いネジ2つを取り、スライドさせて内部基盤を傷付けないように行ってください。

I MIX CONTROL :

2つの入力のMIXを可変で調整するコントロールです。時計と反対側にフルの場合はメインピックアップ (TIP側)、時計回りにフルでRING側の信号のみとなります。

J INPUT : (モノ・ステレオ対応)

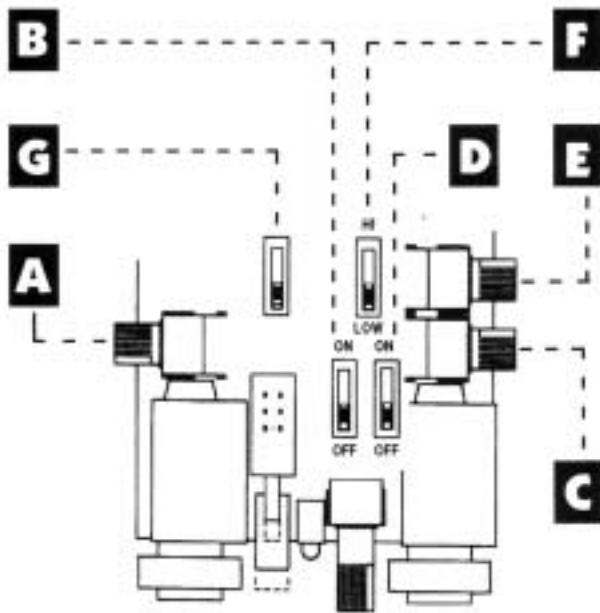
モノ・ステレオ対応です。モノの時はTIP側に繋がれている信号のみの入力となりステレオ入力ケーブルで入力されたときにRING側に繋いだ信号も入力されます。

< MIX PRO Specifications >

▲Size: 120(L)x72(W)x32(D)mm ▲Battery: 1x9V
Current Consumption: 2.3mA ▲BatteryLife: 200-Hrs.(Alkaline) ▲Weight(w/Battery): 207g ▲Phantom Power: 9V for Both Channels ▲Post-MIX EQ: Passive ▲EQ/Low ± 6 dB(80Hz) ▲EQ/Treble ± 6 dB(7kHz) ▲Post-MIX Low-Cut: 12dB/Oct. 27Hz to 100Hz ▲Class: Pure Class A, All Discrete ▲Ring Low-Cut: 12dB/Oct. 20 to 2000Hz ▲Gain: +6dB to +28dB (Both Channels) ▲Signal to Noise: -90dB, 27Hz~20kHz unweighted ▲Input Impedance: Phantom Off/10Meg. Phantom ON/15k 800Ohms

MIX PRO の本体の中には2系統の入力ソースを適正にブレンドしていく為に必要なコントロールが入っています。使用する入力ソースの組み合わせによって設定が変わってきますので、ご使用前に必ずご確認ください。本体の裏側にある大きなネジを外すと下記のようなコントロールがあります。本体内部の取扱電池の交換や設定をする時には充分にご注意下さい。

本体の中です



A GAIN CONTROL : (入力ゲイン調整・TIP側)

ゲイン・コントロールはボリュームではありません。出力の違う色々な入力ソースに対しての適正な信号レベルを調整するものです。この設定が低すぎるとシューというヒスノイズが多くなります。逆にこの設定が高すぎるとディストーションいわゆる歪みを伴った音となります。これらの症状がでないポイントが最適な設定となります。このゲイン・コントロールはTIP側につなげるメインのピックアップ用です。

B PHANTOM POWER : (up-ON , down-OFF)

MIX PROはコンデンサーマイク等のファントムパワー機能を持っています。

(注) ファントムパワーを必要とする場合のみご使用下さい。ファントムパワーを必要としない入力ソース特にパッシブタイプのピックアップを使用すると20kオームの入カインピーダンスがダウンするため、使用不可です。パッシブ型のピックアップ使用時に音量が著しく小さい場合はファントムパワースイッチをOff (ダウン) にして下さい。MIXPROに入力のステレオジャックのTIP側に配線した入力ソース用のファントムパワーです。

C GAIN CONTROL : (入力ゲイン調整・RING側)

このゲイン・コントロールはジャックのRING側に繋げる入力ソース用です。その他の説明は上記の (A) と同じです。

D PHANTOM POWER : (up-ON, down-OFF)

このファントムパワーはジャックのRING側につなげる入力ソース用です。その他の説明は上記の (B) と同じです。最もポピュラーなRINGチャンネルを使った使用はミニマイクでしょう。別紙の「MIC SUPPLEMENT」はよく使われるマイクの使用例です。マイク側にプリアンプが無い場合は別売りのBuffer Jackが必要となります。

E LOW CUT TRIM : (ローカット・トリム)

RING側に接続した入力信号の低域帯音量調整のためのコントロールです。次の項目の (F) と関連しますのでご注意ください。

F LOW CUT RANGE SWITCH : (ローカット・レンジ)

前述のLOW CUT TRIMコントロールをする周波数レンジの切り替えをするスイッチです。ダウン・ポジションで20~200Hz、アップ・ポジションで200~2000Hzの2つのレンジを選べます。コンデンサーマイクを想定した場合、サウンドホールよりにマイクをセットするときはDOWNポジション、ボディの奥にセットまたはギターそのもののサウンドがややブーミーな時はUPポジションをお勧めします。

G PHASE SWITCH : (フェーズスイッチ)

RING側に接続した入力信号の位相をTIP側と合わせるためのスイッチです。ギターをアンプ等につなぎ、本体のミックスコントロールをセンターのクリック・ポジションにして下さい。位相が合っている方が音量、音質、バランスが良い筈ですのでそのポジションに合わせてください。